

令和7年度 第3回文化財保護委員会議事録

令和8年3月13日(金) 10:00~11:00
合志市総合センター「ヴィーブル」2階 研修室

【文化財保護委員】

(委員長) 稲岡 ミドリ (副委員長) 緒方 明 (委員) 濱田 祐幸・三島 多恵
子・松尾 すみ子・岐部 則夫

【生涯学習課】

(課長) 渡辺良輔 (課長補佐) 合志 新一 (主幹) 米村 大 (主事) 前田 純子
(歴史資料館長) 隅倉 雄一

欠席(委員) 星子 芳寛・齋藤 良子

前田) 今から令和7年度第3回文化財保護委員会を始めさせていただきます。開会に先立ちまして、稲岡委員長よりまずご挨拶をいただきたいと思っております。

稲岡委員長) おはようございます。こないだ7年度が始まったばかりでというような感覚でいますけれども年度始まりはいつも頑張ろうと思いつつながら、なかなか終わるまでそれが続かずに流されています。本当に皆様頑張ってらっしゃるかと思っておりますけれども今日もよろしく願いいたします。

前田) 続きまして生涯学習課長が挨拶いたします。

渡辺課長) 皆さんおはようございます。生涯学習課長渡辺です。どうぞよろしくお願い申し上げます。皆様方には日頃より市の文化財保護行政にご協力またご尽力いただきまして誠に感謝申し上げます。また本日は、文化財保護委員会ということでお忙しい中にご出席いただきましてありがとうございます。先日は中九州横断道路に伴う県の発掘調査、現地説明会の方にですね、ご参加いただきましてありがとうございました。竹迫城の外堀である総構え跡の堀や土塁の規模に圧倒されたのではないのでしょうか？今後ですね、ますます開発が増えてくるのが予想されますので、少しでも壊されないように、保護も講じることを考えていかなければと感じております。さて、歴史資料館の特別展でございますが今年度は原田繁が残したものと題しまして、9月より2月まで開催をいたしました。昨年、原田繁さんの甥である柿原真さんから多くの遺品が寄贈されまして、保護委員の方々も整理分別に当たってはご協力いただいたと聞いております。この場をお借りしてお礼申し上げますありがとうございます。参加者は1000名を超え盛況だったというふうに聞いております。最後になりますが、本日の会議が文化財保護によりまして、有意義な機会となりますようご祈念申し上げ、挨拶いたします。本日はよろしくお願い申し上げます。

前田) まず議題(1) 令和7年度の事業報告です。資料は1ページから2ページをご覧ください。指定文化財保存管理事業につきまして、米村主幹よりお願いします。

米村) 指定文化財保護保存管理事業の清掃管理委託についてですが、これは例年通り11箇所です。地元の方やシルバー人材さんの方をお願いしたところですが、須屋城発掘調査の後に市により造られた須屋城歴史公園は地元で管理されていましたが高齢化により市で木の剪定をできないか要望がありました。今回、市の土地であることから、樹木の剪定を行ったところですが、今後、どう対応するかというのは内部で検討したいと考えています。

続きまして文化財説明看板設置業務です。今年度は清寿院跡、竹迫観音祭(竹迫観音堂)と中林観音堂3ヶ所を予定しまして、業者の方が現在、設置をしています。続きまして医音寺跡石造物保存修復委託です。写真の一番左側がお地藏さんで左から4番目から7番目の4基が倒れていたため保存修復をしたところでした。清寿院跡の石造物修復は、上庄区で行っていただきました。

前田) ここまでで何かご質問はございますでしょうか？

緒方) 看板の設置については3月16日(月)と聞いたので大変嬉しく思っているところです。立て直してもらおうというふうなことで、米村さんにも協力を得ました。お堂に上がるころのコンクリート打設を行ったところですが、看板は説明書きも入りましますし、その案設置される看板に織り込んでいただけるということになりましたので、関学見学するにはですね、かなり見栄えのするよう形になるかと思えます。お堂については、築40年経過しているためいずれ建て直しも必要と考えています。

前田) 1ページの埋蔵文化財の発掘調査について米村主幹からご説明いただきますようによろしくお願いします。埋蔵文化財発掘調査についてです。これは令和6年度分の試掘確認調査をした内容の報告書になり、今月末に刊行する予定です。包蔵地紹介の件数ですけども、昨日時点で832件ありまして、前年度は1007件でしたので、少し減っています。また、試掘確認調査の現場の件数も今年度8件っていうことで前年度20件に比べて減っています。来年度以降は、また増えていくと予想しています。

熊本県文化課の竹迫城惣構え跡発掘調査では、惣構え跡の初めての発掘調査となりました。しっかりとした堀と土塁があったことが証明され成果が上がりました。今後残せるようにしていかないといけないというふうなことを考えています。続きまして2ページ目になりますちょっとめくっていただきまして、この埋蔵文化財試掘確認調査、GISデータレイヤー作成業務です。開発業者が包蔵地照会に来られますがこれまでは遺跡

地図の紙をもとにしていましたがこれをデジタル化してデータで管理することも行っています。また、試掘・確認調査を行った箇所を管理していく事も同時に進めています。空中写真撮影業務委託です。中九州横断道や工業団地などの開発により景観が大きく変わることが予想されますので記録を撮っています。次に社寺調査です。5年程前に地元の方からお堂の管理が難しいという相談を受け、市内の社寺仏神像調査を行い、貴重な仏神像については将来、指定することを目的として県立美術館の協力のもと行っています。今年度は3月30日、月曜日に矢具神社、外園薬師堂の調査を行うところ です。

前田) ここまでで何かご質問等はございますでしょうか？

緒方) 空中写真撮影は、後世に残す記録としてですけれども今の現状が分かるということでしょうか？

米村) そうです。

前田) 合志市歴史資料館運営事業の方に移りたいと思います。ふるさと探訪まち巡りバスと子供歴史科学体験教室について隅倉館長より説明いたします。

隅倉) ふるさと探訪まち巡りバスの件をお話します。3回、行いました。それぞれ第1回目の2回、第2回目が3回、第3回目が2回と計7回のバスで出かけました。第1回はふるさとカルタの札の地を巡るということで、大体カルタ札が40枚ありますので10枚ずつ4回に分けて、この第4回、3年前ぐらいから一つずつクリアして、一番最後の札のところを出かけました。第2回は去年もやった昨年度も出かけたのですが、かなり人数が多くて、埋もれた方がおいでになりましたので、もう一度出かけるということで北里柴三郎記念館、須永博美術館、鍋ヶ滝等々の小国の地を巡るということで書きました。第3回については、令和2年に1回行ったのですが記念碑を巡るということで、旧合志町の地域の記念碑を巡るということで実施しました。合計132名の参加がございました。では次です4ページを開けていただきますと、子供歴史科学体験教室ということで、内容としては9回第1回目が「エリアのたまご作ろう」、第2回目が「水と遊ぼう」です。これが土曜日・日曜日、午前・午後ということで計4回行いました。あと、県立装飾古墳館へ9月に「勾玉作ろう」ということでこれも土・日で計4回行いました。弁天山での「森と遊ぼう」、御船町での化石採集と恐竜博物館の見学は、毎年やっております。7番の「回るシャボン玉を作ろう」、冬休みに「熊本博物館・熊本城で学ぶ」これも毎年やっております。最後1月に「電気クラゲを作ってあそぼう」の実験を行いました。子供たちは454名、幼児が95名、保護者が343名で

892名の参加がございました。以上です。

前田) ありがとうございますここまでで何かご質問等はございますでしょうか？

緒方) ふるさと探訪まち巡りバスですけども、毎回館長のご努力で盛況になってきているというふうに感じます。また、年齢的にも一番団体の世代がそういった文化とかです、歴史に興味を持つ時期に来ているんじゃないかと思います。おそらくそういった歴史探訪などにすごく興味の出る世代がそういうふうになってきているんじゃないかと思うんですけど、ぜひ継続する形で館長に頑張ってくださいと思います。

前田) ありがとうございます。他に何かございますでしょうか？ないようですので、次に進みたいと思います。隅倉館長より説明をお願いします。

隅倉) 5ページになります。歴史資料館の学習と、また出前講座とって歴史資料館を出て、外の学習の補助をやっております。4番の資料館学習資料館内での学習ということでそちらにあります団体のが来られまして、学習をされました。学園大付属の中学校5月の22日などですね。今までなかったものなどがあります、商業高校のインターシップも行われました。それで菊陽町の方から歴史学習をしたいということで、よその町からの訪問もあっております。新開区の方はですね、11月6日にもまたおいでいただきました。あと「昔の道具と暮らし」という小学校3年生の授業ですが、それも合志市内の小学校5校だけでなく、2月4日には大津町の室小の3年生も、100名ぐらいおいでいただきました。バスの手配等がないとなかなか来ることができないところなんですが無理して来ていただいて大変ありがたかったと思っております。以上は資料館学習についてです。次の5番は出前講座と言って資料館の外での学習になります。サロンというのは、老人会とは別の団体になるのですけれども、小西総務課の小西運転手が「カルタの札を巡る」というような形ができるよということ、それぞれサロンの方にご案内をしたところ、非常にたくさんの方が参加してください、カルタを活用し、バスでカルタ札の場所を巡って解説しました。あと地名の話をしたり、歴史の話をしたり、記念碑の話をしたりバスで巡りながら、ずっと話し続けるのですけれどもこういう形でサロンの方も利用していただいてありがたいというふうに思っております。6番その他(資料提供)の方では、ふるさとカルタの解説版を資料として差し上げております。以上が5ページです。次、めぐりまして6ページですが特別展、先ほどの課長の方からお話もありましたが「原田繁の遺したもの」というタイトルですね。柿原真さんからの寄贈がございました。この先月ですね、柿原さんがおいでいただきました。東京の方からですね、原田繁の功績を紹介していただ

いて実は身内としては大変ありがたいというようなお話されました。それと、原田繁さんのお孫さんですね。林家の方なのですがそちらの方のお孫さんもおいでになって大変喜ばれておりました。9月までこの形で残そう特別展は2月までなのですが、残そうと思っております。竹迫初市でなんですが、今年の4月19日・20日の土曜日・日曜日に、文化会館のホワイエを利用しまして、「昭和100年写真展」また、昔の道具を紹介するというので、開催いたしました。ここはスタンプラリーの場所になっておりましたものですから、非常に参加が多くて2000名近くの方がおいでいただき大変ありがたいと思っております。後で申し上げますがまた竹迫初市のパンフレットございますが、4月11日・22日ですね土日でもまた実施する予定にしております。それと、7ページになります。資料館の故障していた竹迫城の解説動画をタブレットで閲覧できるようにしました。また、きくち圏域電子図書館の郷土資料に「合志市の昔話（音声版）」を掲載することができました。以上です。

前田) ありがとうございます。ここまで何かご質問はございますでしょうか？

ないようですので、それではですね③番の文化財保護委員会運営事業について私前田の方から説明をさせていただきます。

前田) 令和7年度の文化財保護委員会年間活動実績についてです。今年度も、前年度に引き続きまして、文化財保護委員会の会議が全3回、あと熊本県文化財保護協会の総会および文化財保護協会研修の方ですね、年間通して皆様にはご参加いただいたことと思います。また今年度文化財情報ということで樹木調査をお願いしていますが、地域での管理等がなされている関係で生涯学習課において把握できなかったこともあり、地域の開発が進み、既に伐採されているものもあります。次年度の計画としては、地域の方々に対して聞き取り調査を検討しております、高齢者に対してですね、町史等がない個人の経験や記憶などを聞き取り、歴史資料を残すことが本調査の目的となっております。令和7年度の調査地区の担当割は下の表の通りとなっております。令和8年度もそれぞれの担当地区を割り振りまして、皆様には調査をお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

米村) 来年度聞き取り調査を提案していますが、これはなぜかといいますと一つは、令和9年に西南戦争150周年、その企画展ができないか考えています。この西南戦争は、ご存知の通り鳥の巣の戦いや上生、黒松などにおける激しい戦闘が行われましたが具体的に実際どこで戦ったかっていうのがわからなかったのですが、聞き取りをし、踏査すると、分かったことがありました。聞き取りをきちんとしないといけないというのを、肌で感じました。そこで、皆さまにも、ご協力していただけないか

なと思っています。今、分担していただいている地区ごとに対応していただきたいと考えています。事務局が詳しい方に連絡して、その方に承諾を得たうえで文化財保護委員さんに直接連絡を取り合ってもらい、聞き取りを行ってもらえれば助かります。西南戦争に限らず戦時中のことやさまざまなことを聞いてもらえればと思います。よろしくをお願いします。

隅倉) 追加で樹木調査の件についてですけれども、もう済まれた方についてはこちらの方にいただいておりますので、終わられた方は私の方まで提出していただきたいと思います。まだの方についてはですね、お1人で樹木が大きすぎて、1人でなかなかできないというところもありますので、私や米村の方が一緒にまた奈須の方もいますので一緒に行きます。気軽に声をかけていただければ、一緒についていきますので、よろしく願いいたします。以上です。

前田) ありがとうございます。ここまでで何かご質問はございますでしょうか？

緒方) 福原などの担当ですが先生とか米村さんをお願いをするかもしれない。かなり本数が増えています。竹迫城跡公園とか、その隣の辺りの旧合志小学校のグラウンドなど散歩に回るときに、この樹木は対象になるのではないかなという樹木がありました。ですから、新たに加える部分が多分、20から30本になると思われます。調査した上で、そういう一つの基準にですね、該当するようであればもう調査票に記載したいと思っています。それから米村さんが言いました西南戦争の関係ですけども、郷土史愛好会でお寺さんのことをお話したのですがその際にお寺さんの方に行って住職から西南戦争のことを何か記憶が残ってないだろうか伺ったのですが旧合志市のお寺さんの住職は世代交代しており、若い住職になってしまっており、分かりませんでした。また、詳しく尋ねに行こうかなとは思ってはいます。

前田) 他に何かありますか。

松尾) あの樹木調査ですが、もう切られて何も無い神社や楠のみなどありました。ここに書いてあったものと、ある程度の大きさのは、全部測りました。伐採後の残っていたのは、計測の対象としてよいでしょうか。

隅倉) はい、対象としてください。

前田) 他に何かご質問等はございますか。はい、ないようですので、それではですね最後8ページをご覧ください。④の伝統郷土芸能と支援事業について私の方から簡単にではございますけれども説明させていただきたいと思います。

令和7年度の予算額ですね59万7000円をよって執行予定にしておりましたが実績額といたしましては今回52万5000円になりました。理由は、須屋太鼓保存会がメンバーが少なくなってしまい、活動自体が難しいということで今年度はもう補助金の申請をしないということから、それに伴う減となっております。竹迫初市が今年度から新たに補助金の項目に追加され、8万円を交付したところでございます。私の方からの説明は以上になります何かご質問はございますでしょうか？

緒方) 伝統郷土芸能に該当するかどうかわかりませんが上庄区のホタル祭は約20年活動を継続している。これに対しての補助金は認めてられないでしょうか。

岐部) 生涯学習課というよりも環境衛生課になるのではないだろうか。

松尾) 先日、樹木を守りたいという団体の方から、話があったので生涯学習課を紹介しました。会いに来られませんでしたでしょうか。

米村) この資料に合志の昔話を作られた水上明子先生も一緒に活動されているということをお聞きしています。また、樹木などの地図を作成したいとおっしゃっていましたので、皆さんの樹木調査成果を情報提供できると思っています。

緒方) 郷土史愛好会支部の会長島田さんが私のところに見えまして、この本を預かりました。命というふうに書いてあるんですけども長福寺について書かれていますので紹介します。

米村) 情報ありがとうございます。

前田) 他に何かございますか。はい、特にないようですので、令和7年度第3回文化財保護委員会議の方を終了させていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。